

CONTENTS COMBAT

2013.Aug.
No.449

8

Cover Design
favorite graphics(Tamao Ito),
Cover Photo
©CAPCOM CO.LTD
ALL RIGHTS RESERVED.
©WORLD PHOTO PRESS 2013



【第1特集／BIOHAZARD】

014 完全新規
東京マルイ
サムライエッジA1
ジル・バレンタイン モデル

018 カプコン×東京マルイ
バイオハザード[®]対談

【第2特集／トイガン】

028 東京マルイ
M870 TACTICAL

●Photos&Text by Taku

034 東京マルイ
M320A1
GAS GRENADE LAUNCHER

●Photos&Text by Taku

040 WESTERN ARMS
M4A1 発売5周年記念モデル
FULL METAL CUSTOM

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

【第3特集／ミリタリー】

022 トルコ軍事見本市
IDEF2013

●レポート:清谷信一 (Shinichi Kiyotani)

054 月刊 自衛隊
ニッポンのちからこぶ
日本の戦車^② 74式戦車

●写真・文:菊池雅之

058 BATES BOOTS 2013
NEW MODELS

●Photos&Text by Tomo Hasegawa

134 The Equipments of the U.S. Force

[現用米軍装備カタログ] 第107回
アメリカ軍特殊部隊アイテム特集

●解説:松原隆 (高知ボンパズ) ●撮影:山崎 学

004 New Generation Styler
OLD SCHOOLER SUMMIT 02

●fujiwara

038 東京マルイ
GAS BLOW BACK AIRSOFT GUN
M9A1 STAINLESS MODEL

●Photos&Text by Taku

050 WESTERN ARMS
COLT MkIV S'70 CHROME SERIES

●Photos & Text by SHOTGUN MARCY

066 Goods & Accessory

076 トイガンニュース

076 WA MEUピストル<レイト・モデル／バトルダメージ・バージョン>

077 WA コルト・ディフェンダー<ブラック&シルバー・バージョン>

078 WA ホーグ・ゴールドカップ・ナショナル・マッチ<6インチ・カスタム>

079 WA SIG SAUER1911<ブラックウォーター>

079 CAW コルト ウッズマン スポーツ

080 世界の兵士図鑑

現代のイギリス陸軍 軍服と個人戦闘装備

●イラスト:解説:坂本 明

084 サープラス品いじり技術研究所

●文:織本知之

085 Militaria Roundup!
U.S. ホット・ウェザー・ユニフォーム
(ジャングル・ファティグ)

●解説:菊月俊之 ●写真:宮坂政邦 (WPP)

096 PRESENT

130 古式銃 射撃大会

●取材:不肖・宮嶋

132 空自瓦版
仕事と誇りとチーム利絆を指輪に刻む
航空自衛隊ミリタリーリング

184 中田商店グッズ

186 S&Grafグッズ

097 GAME OVER THE TOP

100 物欲ワンホール

ROUND 22:タクティカルブーツの選び方とメンテナンス

レア・ミリタリー・テクノロジー

104 ミリタリー雑学講座

112 こちら神保町軍装店

113 PROJECT NINJA「No gear, No life」●Tokyo Equipment Stupid

116 アメリカGUN事情 Guns Talk from US

118 蛙のゆびさき(中山 蛙)

122 帰ってきた 狩野健一郎の[監督、そこにおっぱいは必要ですか!?]

124 トイガンズジャンクション

161 バックナンバーリスト

162 読んで覚える TakuのHOW TO Shooting 射撃のススメ

エアソフトガン・シューティングマッチ

アンリミテッド2013

165 A STITCH IN TIME

167 2013ショットショージャパン 春の部

168 幻妖中隊(最終回) ●by fujiwara

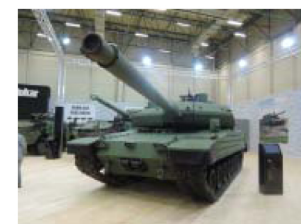
170 狩野健一郎のシネマ放浪記

171 狩野健一郎の新作DVD紹介

172 コンバットマガジン・インフォメーション・センター

175 読者プレゼント応募方法

176 編集後記





Weight
961g
26 + 1
Bullet

©東京マルイ ☎03-3605-3378 <http://www.tokyo-marui.co.jp/>

完全新規

SAMURAI EDGE A1



前号の速報でお伝えしたカプコン×東京マルイの『バイオハザード』コラボレーション最新作「サムライエッジA1」。そのこだわりが詰まった新たなるサムライエッジの魅力を徹底解剖していこう。

写真／油科康司(WPP) 文／斉藤直樹



トライアル中のトルコが開発中の
MBT「アルタイ」。(提供:オトカ・
オトプス・カロセリ・サナイ)



IDEF2013

リポート:清谷信一(Shinichi Kiyotani)

トルコ軍事見本市

International Defence Equipment fair



IDEFでは2輦製造されたアルタイの試作車のうち1輦が展示された。戦闘重量が約60t、主砲はラインメタル社の55口径の120mm滑腔砲「L55」を採用。その他の主要コンポーネントの多くは国産開発されている。火器管制装置や通信システムなどはアセルサン社が担当しており、サーマルサイトなども国産である。バトル・マネジメント・システムはオトカ社が担当。また車体前後左右には状況把握用のビデオカメラが装備されている。開発に当たっては韓国のロテム社がアドバイザーという形で関わっているが、直接開発には関わっていない。

トルコは軍事産業の振興を長年図ってきた。そのショーケースとなる見本市が IDEF (International Defence Equipment Fair) である。IDEFは隔年で開催されており、今年もイスタンブール市近郊のTUYAP見本市会場において、5月7～10日の4日間にわたりに行なわれた。

お隣のギリシャは軍需産業のみならず工業化自体に失敗しているのに対し、トルコはテキスタイルなどの軽工業から重工業、エレクトロニクスに至るまで広範囲の工業化に成功し、これが軍



雪中試験中のアルタイ。現在まで試作車輦は2輦製作され、各種の試験が行なわれている。さらに2輦の試作車が製造され、さらなる各種試験を2014年までに終了させ、2015年から生産に入る予定だという。なお生産数は250輦となっている。
【提供:オトカ・オトプス・カロセリ・サナイ】



パワーバックにはドイツ製のコンパクトな1,500馬力のユーロバックだ。エンジンはMTU社の1,500馬力ディーゼルMT883 Ka-500とレンク社製HSWL 295TM オートマチック・トランスミッションを採用する。

需産業の技術的な基盤にもなっている。国の振興策もあり、トルコの軍需産業はこの10年ほどで長足の進歩を遂げている。特に陸戦兵器はその多くを国産化するに至っている。また空海装備も独自開発能力を高め、国産フリゲイト

転輪は片側7輪と多い。またその分履帯が長く接地圧が低くできる。恐らく初めての戦車開発なので、無理をしない設計方針なのだろう。履帯は現在韓国製を使用しているが、トライアルの結果次第では国産、あるいは他の候補を採用する可能性があるとのこと。またトライアルを通じての仕様の変更も充分あり得るとのことだ。



アルタイ開発プロジェクトに協力しているアセルサン社は、アルタイに使用される技術を使いレオバルト2戦車の近代化案を提案している。エレクトロニクスやシステム関連はおおむねアルタイに準じているが、装甲はドイツ、IBD社の装甲システムを採用している。トルコ陸軍は中古のレオバルト2をドイツから導入しているが、これらの近代化に使用される可能性が高い。多くのコンポーネントやソフトウェアをアルタイと共用できれば運用コストを大幅に下げることができるだろう。



オトカ社の初の装軌式歩兵戦闘車「トゥルパ」。戦闘重量が32t(最大42tまでの増加が可能)。エンジンはスカニア社の810馬力ディーゼルエンジン、トランスミッションはSAPA社のオートマチック・トランスミッション「SG-850」を採用。砲塔は自社製の無人砲である「ミズラック30mm」を採用している。主砲は30mm機関砲で、同軸機銃は7.62mmだが主砲右側に別個コンポーネントとして装備されている。最高速度は70km/hで、戦闘重量32tの場合のパワー・ウェイト・レシオは25.3hp/tとなっている。登坂力は60%で航続距離は600km。なおエアコン、自動消火装置、NBCシステムは標準装備であり、全長7.23m、全幅3.4m、全高3.184m(車体のみは2.676m)。

艦や戦闘機の開発などにも取り組んでいる。軍事産業従事者は約5万名(うち軍の工場が1万5千名)で、売り上げは4,380億円、研究開発には約672億円を投じている(2011年度)。過去10年で防衛航空宇宙産業の売り上げは4倍、輸出は5倍、研究開発は10倍に増えている。

今回はそのようなトルコの国産兵器を主に紹介しよう。



オトカ社の新型軽4輪装甲車「ウラル」。戦闘重量は6.122t、エンジンは185馬力のディーゼルエンジンで、乗員は9名だが、最大10名まで搭乗が可能。車体はV字型の耐地雷下部構造を持ち、フローティング・シートを採用している。最高速度は110km/h、航続距離は600km、登坂力は60%。RESは自社製のパソックに7.62mm機銃とサーチライトを装備したモデル。



オトカ社の新型4輪装甲車「コブラII」。戦闘重量が12tで、6tのコブラの2倍の重量となっているが、その分より高い防御力と大きいペイロードを確保している。装甲はモジュラー式でユーザーの意向にあわせたものがチョイスできる。コブラ同様、V字型の耐地雷構造の底面を採用し、加えフローティング・シートを採用している。エンジンは281馬力のディーゼルエンジン、トランスミッションは6速オートマだ。最大速度は110km/h、登坂力は60%、航続距離は700kmとなっている。乗員は車長、運転手ほか7名の下車歩兵が搭乗できる。RWSは12.7mm機銃を装備した自社製の「ウコタ」。

アセルサン社が開発したRWS「SAMP」(Stabilized Advanced Remote Weapon on Station Platform)はアルタイに搭載されている。写真は40mmのオートマチック・グレネードランチャーを搭載しているが、7.62mmや12.7mm機銃も搭載可能。重量は200kg以下で、仰角角が-10°+60度となっており、昼夜兼用光学・電子サイト、レーザー測距儀、自動追尾装置、自動残弾計を装備している。12.7mm弾の場合250発の大容量弾倉を有している。



車内のシートはフローティング・シートとなっている。またキャビン床には米スカイデックス社の衝撃吸収材を採用している。



ガナー・サイトおよび車長のパノラミック・サイトは同じ光学・電子センサーが採用されており、車長、ガナーはそれぞれのセンサーをオーバーライドして使用することも可能。砲塔前部には複数のカメラを統合したユニットが所在。また車体前後左右にもカメラが配されており、車長や操縦手の状況把握能力の向上に寄与している。

M870 TACTICAL



本体左側面にはモデル名が刻まれている。レシーバーは金属製で剛性も高い。ポンプアクション・ショットガンは、つついラフな扱いになりやすいので金属製レシーバーはウレシイ。



20mmレイルマウントを装備しているの
で、好みに応じて光学サイトを搭載するこ
とも可能だ。リアサイトは左右の調整が可
能となっている。

迫力のマズルフェイスはショットガンならではの。インナーバレルは、リアルさを損なわないように少し奥まったところにある。

新ジャンルのカテゴリー、ガスショットガンシリーズ第1弾 『M870 TACTICAL』登場!

東京マルイのショットガンといえば、斬新なメカニズムに優れた命中精度を持ったモデルとして、販売当初より根強い人気を誇るロングセラー商品である。3バレル3シリンダーという独自のメカニズムは、発売と同時にセンセーショナルを巻き起こし、ブリンキング（室内で撃って楽しむこと）からサバイバルゲームまで幅広いユーザー層に使用されてきた。よく飛び、よく当たるエアショットガン・シリーズだったが、メカニズムがエアコッキング方式のため、コッキングの重さは解消のしようがなく、女性などには扱いにくいモデルとなっていた。優れたメカニズムであるが故、この操作性の扱いにくさが目立ってしまい、エアショットガン＝筋力のある人が扱うモデルというイメージが定着したともしないとか。まあ、人気のあるモデルだけあり、ニューモデルの発売が待たれていたシリーズなのも、またまぎれもない事実なのだが……。

今回、発売となるガスショットガン・シリーズ第1弾『M870 TACTICAL（タクティカル）』は、エアショットガン・シリ

ーズの最大の弱点であるコッキングの重さを解決したモデルである。

パワーソースをエアからガスへと変更したことで、コッキングは驚くほど軽くな

り、力のない女性でも軽々と操作が可能となった。パワーソースとなるガスは、ストック内に収められたガスタンクより供給される。このガスタンクは取り外し式になっ

細身で握りやすいフォアエンドは実銃より採寸されたもの。このままでも構わないが、ライト付のフォアエンドなどに換装してもカッコよい。



WESTERN ARMS

M4A1発売5周年記念モデル FULL METAL CUSTOM

ウエスタン アームズ ☎03-3407-5922 <http://www.wa-gunnet.co.jp/>
●Photos & Text by SHOTGUN MARCY



フラッシュ・ハイダーはメタル製のナイツ・タイプ。フロントサイト・ベースももちろん金属製だ。

衝撃のデビューから5年 WAのM4A1シリーズが 新たな局面を迎えた

2008年春。日本中を震撼させる驚愕のブローバックガスガンがデビューした。そう、ウエスタン アームズ（以下：WA）の“M4A1 CQBR”が発売されたのだ。

低圧フロンガスエネルギー・ソースにしたフルストロークのブローバック・アクションと、大型のアサルトライフルでありながら、予想をはるかに超えるキック力。過去、アサルトライフル型ブローバックガスガンが存在しなかったわけではない。しかし、それはショート・ストロークのブローバックで、キックもほとんどないというモデル。ファンも関係者も、低圧ガスを利用したライフル型ブローバック・モデルは、「それが限界」と、信じて疑わなかった。そんな常識を軽々と打ち破ったのがWAのM4A1。ブローバックガス・ライフルの新たな歴史が始まった。

1年後には、さらにキック力を増幅し、マガジンの性能を向上させた“スーパー・バージョン”が登場。矢継ぎ早に発売される豪華なバリエーションがファンの目を



エクステンション・ストックは、ナイツSR16シリーズに採用されたクレーン・タイプ。

使用状況と体格に合わせて調整可能な6ポジションのロック式。

釘付けにした。それらの中でもっとも衝撃的だったのが、ちょうど前に発売された“M16スナイパー・ライフル《ゴルゴ13》”モデル。専用アタッシュケース、専

用スコープ・マウントに大口径の40mmズーム・スコープ（3～9倍）。アッパー・レシーバーを外して収納されたメカニカルなイメージは、WAのマグナモデルなら

BATES BOOTS 2013

PHOTOS & TEXT BY TOMO HASEGAWA
問い合わせ先/中田商店 ☎03-3839-6866
HP URL:<http://www.nakatashoten.com/>

NEW MODELS

ヴェロシター、アノボン、そしてゼロマス ミッド。
ベイツブーツ2013年のニューモデルが日本上陸!
期待の高性能を実用レポート!!

VELOCITOR

一見ジョギングシューズのようだが、裾から上にタクティカルブーツのタフさを包み隠す。アーバンタクティカルの新発想。

